

音楽科学習指導案

学習者 附属小学校6年2組 33名
 指導者 加来 修子

題材名 つくった音楽をみんなに届けよう（和音の音で旋律づくり）

1. 題材の目標

- (1) 旋律、音の重なりや和音の響きなどと曲想との関わりを理解して、和音に含まれる音を使って旋律をつくる技能を身に付けるようにする。
- (2) 和音の響きの移り変わりや曲想との関わりについて考え、それらにふさわしい表現の仕方を工夫し、どのように表現するかについて思いや意図をもつようにする。
- (3) 和音の響きの違いや移り変わりを生かして表現したり、つくった旋律を発表し合って気付いたことなどを伝え合ったりする学習に主体的に取り組むようにする。

2. 題材の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① 曲想と旋律の特徴、音の重なり、和音の響きなどとの関わりについて理解している。 ② 旋律の音の動きやフレーズのつなげ方の特徴を理解し、和音に含まれる音や例示されたリズムを基に即興的に旋律をつくったり、反復、変化などを用いて自分なりのまとまりのある旋律をつくったりしている。	① リズム、旋律の音の動き、和音の響きの移り変わりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、音やフレーズのつなげ方を工夫して、どのように全体のまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもっている。	①和音の響きやその移り変わりへの興味・関心を深め、和音に含まれる音を使って旋律をつくる学習に主体的に取り組もうとしている。

3. 指導と評価の計画（3時間）

時	ねらい（◆）と主な学習活動（○）	評価規準〈評価方法〉		
		知・技	思・判・表	主体
1	◆ハ長調の和音と低音の響きの移り変わりを確かめ、和音に含まれる音を使って、旋律をつくっている。	指導の改善に生かす評価「・」 総括資料とするための記録に残す評価「○」		
	○和音と低音を聴き、それぞれの和音の響きを確かめる。 ○モデルの旋律をリズム打ちしたり、演奏したりして比べる。 ○どんなイメージの旋律にするかを旋律シートに位置付け、和音に含まれる音を選	○①〈発言分析・行動分析・記録分析〉		・①〈記録分析〉

	<p>び、4分の4拍子で4小節の旋律をつくり、階名を書く。</p> <p>○つくった旋律を演奏して聴き合い、互いによさを伝え合う。</p>			
2 (本時)	<p>◆つくった旋律のリズムを工夫して、よりイメージにあった旋律をつくっている。</p> <p>○モデルの旋律や自分のつくった旋律を演奏して確かめる。</p> <p>○どんな工夫ができるか試し、考えを出し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>【想定される児童の姿】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・使う音符を変える。 ・リズムを変える。 ・リズムに反復を入れる。 ・音の響きの動きを変える。 ・音の順番を変える。 </div> <p>○リズムや音の動きを工夫し、イメージに合うように旋律をつくる。</p> <p>○つくった旋律を演奏して聴き合い、互いの旋律のよさやイメージを伝え合う。</p>	○②〈記録分析〉	○①〈発言分析・行動分析・記録分析〉	・①〈記録分析〉
3	<p>◆つくった旋律を和音伴奏に合わせて演奏し、和音の響きやその移り変わりを味わう。</p> <p>○自分のつくった旋律を演奏し、確かめる。</p> <p>○2つの和音伴奏を聴いたり、合わせて演奏したりして、自分の旋律に合う伴奏を選ぶ。</p> <p>○選んだ伴奏に合わせて演奏し、録音する。</p> <p>○つくった旋律を演奏して聴き合い、良さを伝え合う。</p>		・①〈発言分析・記録分析〉	○①〈行動分析・記録分析〉

4. 本時の指導 (2/3)

<p>本時のねらい</p> <p>評価規準</p> <p>具体的な児童の姿</p>	<p>自分のつくった旋律について、どう工夫したいか思いを旋律シートに位置付けたり、友達のつくった旋律と比べることによりリズムや音の動きの違いやよさに気付いたりすることを通して、よりイメージに合うように工夫することができるようにする。</p> <p>自分のつくった旋律について、よりイメージに合うように工夫している。</p> <p>イメージに合うようにどう工夫したいか思いを旋律シートに書いている姿 イメージに合っているか友達の旋律を聴きながら考え、伝えている姿 よりイメージに合うためにリズムをたたいたり、つくった旋律を演奏したりして試す姿 「高い音を多くしたり8分音符を多く入れたりしたら、思ったイメージの明るく元気が出る曲になって、よかった。」</p>
--	--

時間	児童の活動	指導○及び留意点・◎評価(方法) ※支援を要する児童への手立て	準備物
6分	1. 前時を想起し、課題をつかむ。	<div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> めあて イメージに合う旋律をつくろう </div> <p>○モデルの旋律や自分のつくった旋律を演奏して、前時を想起できるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童数名の旋律を紹介し、どんなイメージがするかを考えさせる。 ・もっとイメージに合うようにしたいという思いが児童から出てきたら、課題を提示する。 	掲示物(楽譜)、iPad、TV
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 課題 よりイメージに合う旋律にするには、どんな工夫をするとよいか。 </div>			
8分	2. どんな工夫ができるか試し、考えを出し合う。	<p>○自分の今の旋律を演奏したり、変えたりして試させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人で考えた後、ペアで話す時間を設定する。 ・ペアで交流した後に、全体で考えを出し合う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 【想定される児童の姿】 <ul style="list-style-type: none"> ・使う音符を変える。 ・リズムを変える。 ・リズムに反復を入れる。 ・音の響きの動きを変える。 ・音の順番を変える。 </div>	iPad、鍵盤ハーモニカ、リコーダー
20分	3. リズムや音の動きを工夫し、イメージに合うように旋律をつくる。	<p>○自分の思いを旋律シートに位置付け、工夫して旋律をつくれるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旋律シートに、どのように工夫したいか自分の思いを位置付け、意識できるようにする。 ・音の動きを変える場合は、前時と違う色で音をつなぐことを伝える。 ・一部分だけの変更でもよいことを伝える。 ・演奏して試しながら、旋律シートを完成させるように、声をかける。 <p>※途中で、今の状況を確認し、旋律シートを共有したり、数名の旋律シートを見て、音の動きやリズムからどんなイメージがするか全体で確認したりして、困っている児童が参考にできるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の旋律が決まったら、提出箱に提出させる。 ・完成したら、自分の旋律を練習するようにする。 	iPad、鍵盤ハーモニカ、リコーダー

